

沼津市中央公園再整備基本方針策定委員会委員会 中間報告

1 開催日時・場所

- (1) 令和3年10月6日(水) 10:00~12:00
(株式会社SOCI事務所と各委員とのオンライン会議形式)

2 出席者

委員：今西委員、馬場委員、三谷委員
委託業者：株式会社SOCI
沼津市：まちづくり政策課(都市計画係、まちづくり推進係)
緑地公園課

3 議事

- (1) 沼津中央公園の現在の活用
- (2) 沼津中央公園再整備基本方針検討状況
- (3) 中央公園の位置づけと周辺との関係について
- (4) 今後の進め方
- (5) 意見交換

4 主な意見

- ①このエリアにおいて公園の位置づけをどうするかが重要。
公園整備と高架による線路の整備が一気に動いているチャンスはどう導くかが重要。
- ②地図の切り方もポイントである。
中央公園が、まちづくりの南端ではなく、狩野川や香貫山などと繋げるハブとなるような、ダイナミックな都市動線を示す必要があるのではないか。
- ③沼津市にとって、狩野川の景観は、誇れるもので、沼津らしさと言った場合に、“狩野川”と“海岸”ははずせない。その意味で、中央公園があゆみ橋の入り口ということは重要な意味を持つ。
- ④敷地の捉え方を大きくした方がいい。
 - ・公園の機能自体は、エリアを大きく捉え、機能の分散をエリアで考える必要がある。
 - ・その時に公共だけで考えるのではなく、民間と共に考える。

⑤隣地の方へのヒアリングは避けて通れない。隣の敷地をblankにして、公園内だけで考えても、難しいので、中央公園の再整備と共存共栄できるようにヒアリングや意見を反映していく必要がある。

⑥沼津は昭和37年～38年頃から緑が少ない街と言われている。

⑦ゾーニング案についてだが、芝生広場を入れ替える案はどうか。

- ・今芝生がはげているところを舗装にして、舗装されているところを芝生にすると、日陰もなく作れるのではないか。
- ・計画を考える上で空間性と方位から考えていく。
- ・芝生があるから、木をきるなどではなく、緑があることは実は大事。

⑧緑化推進協議会の管理する花壇を計画に入れるように。

⑨花壇の管理については、現在管理している団体も含めて継続性について注意していかなくてはならない。

⑩ここまでのヒアリングの内容を見ると、方針を出す時に難しそう。

スケボーの聖地であることや、イベントなどの文化があることが調和するのか、さらにそれをゾーンごとに分けているのか、あるいは再整備基本方針によってプレイヤーを選別することになるのかが心配。
⇒1つの案としてゾーン分けというよりはタイムシェアを考えている。
⇒タイムシェアを実施している街区公園はなかなか事例がないから、面白いかもしれない。

⑪再整備基本方針策定の、3つのポイント

- 1 沼津にとって、狩野川/香貫山の風景がとても重要
- 2 6100㎡の公園に、求められる機能を全て盛り込むのは厳しい。新しい中央公園をまちなかにおける居住誘導に紐付ける意味でも、公園に求められる機能を街中に分散させる必要がある。
- 3 駅を整備、中央公園を整備していくと、大通りがそれをつなげる背骨になる。ここが緑のある大通りになったら、とても良いと考える。

⑫今年度の基本方針策定で、内容を整理する方法として、3つのポイント

- 1 公園自体で行うこと
- 2 公園につながること
- 3 街に求められる公園